たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌
合併記念
特集号

vol.1
2006.7

JAくしろ丹頂



世紀の大改革に感慨新たに



釧路丹頂農業協同組合
代表理事組合長　植田　晃雄

色あざやかな花、緑濃い草地に囲まれ丹頂が舞う澄み切った空気の中、「釧路丹頂農業協同組合」が発足いたしました。まさに世紀の大改革であり感慨無量のものがあります。永きに亘り大同団結に向けご指導頂きました皆様に、心よりお礼申し上げます。

省みますと戦後間もない昭和二二年、食糧の増産を目標に農業振興を図り農村の近代化を進める為に農協法が制定されました。それに伴い全国に農業協同組合が設立され、同様に今回合併した旧四農協とも昭和二三年に設立されました。旧四農協それぞれに、農業の振興と農民の生活向上、そして子々孫々に亘って心豊かに住める安住の郷土造りの為に、親から子へ、子から孫へとその志が引き継がれ、まさに汗と血を流しながら五八年間という半世紀を超える歴史を積み重ね、現在他に誇れる農業と郷土を造り上げたところであります。

また、この五八年間は、さまざまな逆風にさらされてきた歴史でもありました。国内に目を向けますと、農協法が暫時改正され、農協や農村には大変な規制の強化となることもありました。それが本来の目的である地域農業の振興や、意欲ある農業者の農業経営を支援することが困難になる状況を作り出す事もありました。また、現在の我が国の経済は低迷が続いており、生産物の需給関係に生じたアンバランスと価格低迷、後継者不足、更には環境への対策等課題が山積し、国外の状況もＷＴＯ農業合意、米国産牛肉の輸入解禁、原油価格の高騰等、厳しさは緩和に至っておりません。

私共はこれらの難関を乗り越える為に、長い時間をかけて大同団結の為の協議を進め、今回四農協の合併に至ったところであります。取り巻く環境は、まさに内憂外患の種は尽きないという状況ではありますが、地域農業の振興を図り、組合員の経営と生活向上実現の為に、先達の志を引き継ぎ、協同の力をより強めながら、多くの国民、消費者の方々の期待に応え得る農村、農業を構築し、組合員の皆様と共に邁進して参ります。

関係機関各位のご指導と、地域の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ、釧路丹頂農業協同組合発足にあたってのご挨拶といたします。



早期の合併成果の実現に期待

北海道農業協同組合中央会
会長
宮田　勇（いさみ）

本日ここに、JAつるい、JA幌呂、JA白糠町、JAおんべつの4JAが大同団結し、新生「釧路丹頂農業協同組合」が誕生いたしましたことは、誠に意義深く、系統連合会を代表いたしまして衷心よりお祝い申し上げます。

系統事業につきましては、日頃より多大なるご支援、ご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

ご承知のように農業・JAを巡る情勢をみますと、WTO農業交渉に係るモダリティの合意については予断を許さない状況にあります。そうした中で、地域農業の担い手を確保しつつ、北海道農業が日本の食料基地として確固たる地位を築き、食料自給率の向上と消費者への安全で安心できる農畜産物の供給をいかに行っていくかが将来にわたる重要な課題であります。

また、JA経営につきましても、諸制度等の改正への対応はもとより、時代を先取りしたJAグループの自主的な改革が求められており、組合員・地域にとって真に必要なサービスの提供と健全な経営を確保するために、組合員の視点に立った取り組みを進めていくことが重要であります。

当地区の基幹産業である酪農につきましては、誠に残念ながら、消費低迷の影響を受け、非常に厳しい状況下にあることはご承知の通りでありますが、諸課題に対応し、安全・安心な農畜産物の提供と、地域に信頼されるJA事業を展開していくためには、地域農業の牽引役としてのJAが、組織基盤を確固たるものとし、事業機能の充実・強化を図ることが必要であります。

こうした中で、将来を洞察され、地域農業の振興、さらには組合員の営農と生活を守る砦として、合併によって新たなる組織・経営基盤を確立されましたことは、組合員ならびに役職員の皆様方のご賢察とご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

合併はそれ自体が目的ではなく、合併という手段を通じて、今後、真に組合員が求めている様々なニーズに応えていくことが必要であります。私ども系統連合会もJAグループ北海道として、組織力を強化して参りますとともに、組合員農家の方々に目線を合わせて、出来る限りのお手伝いをさせていただく所存であります。

本日の新生「釧路丹頂農業協同組合」の誕生を契機として、組合員の皆様、役員・職員の方々が、従前以上にJAへの結束を強められますとともに、早期に合併の成果を実現し、地域農業・地域経済の活性化と組合員およびJAの発展に大きく貢献し、所期の目的が達成されますことを心からご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

新　役　員・参　事　紹　介

代表理事組合長



植田晃雄
(ウエダ テルオ)
出身農協／幌呂
生年月日／S14.5.17
年齢／67歳　正組合員

代表理事専務



瀧澤義一
(タキザワ ヨシカズ)
出身農協／つるい
生年月日／S24.1.6
年齢／57歳　正組合員

常務理事(信用担当)



渡辺巖
(ワタナベ イワオ)
出身農協／幌呂
生年月日／S19.2.27
年齢／62歳　学識経験

副組合長理事



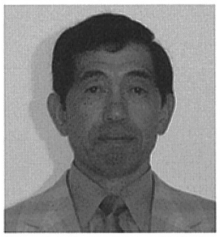
田井愃
(タイ ヒロシ)
出身農協／おんべつ
生年月日／S8.9.12
年齢／72歳　正組合員

副組合長理事



五十嵐昇
(イガラシ ノボル)
出身農協／白糠町
生年月日／S9.9.23
年齢／71歳　正組合員

理　事



高橋達雄
(タカハシ タツオ)
出身農協／つるい
生年月日／S22.12.13
年齢／58歳　正組合員

理　事



斉藤滋
(サイトウ シゲル)
出身農協／つるい
生年月日／S27.12.1
年齢／53歳　正組合員

理　事



大硲理男
(オオサコ ミチオ)
出身農協／幌呂
生年月日／S14.12.4
年齢／66歳　正組合員

理　事



松下和波
(マツシタ カズナミ)
出身農協／幌呂
生年月日／S25.10.13
年齢／55歳　正組合員

理　事



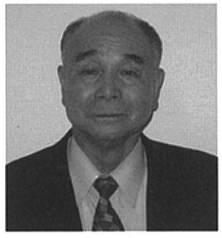
岡嶋賢悟
(オカジマ ケンゴ　)
出身農協／白糠町
生年月日／S20.1.3
年齢／61歳　正組合員

理　事



対木範誉
(ツイキ ノリタカ)
出身農協／白糠町
生年月日／S30.2.6
年齢／51歳　正組合員

理　事



大和田克清
(オオワダ カツキヨ)
出身農協／おんべつ
生年月日／S7.7.29
年齢／73歳　正組合員

理　事



成田俊英
(ナリタ トシヒデ)
出身農協／おんべつ
生年月日／S26.11.17
年齢／54歳　正組合員

代表監事



林隆美
(ハヤシ タカミ)
出身農協／白糠町
生年月日／S21.8.10
年齢／59歳　正組合員

監　事



尾田猛
(オダ タケシ)
出身農協／幌呂
生年月日／S23.12.15
年齢／57歳　正組合員

監　事



瀬戸計見
(セト カズアキ)
出身農協／おんべつ
生年月日／S26.1.16
年齢／55歳　正組合員

監　事



阿部博
(アベ ヒロシ)
出身農協／つるい
生年月日／S28.1.31
年齢／53歳　正組合員

員外監事



石川篤四
(イシカワ トクシ)
出身農協／白糠町
生年月日／S12.9.30
年齢／68歳

参　事



梶原英光
(カジワラ ヒデミツ)
出身農協／つるい
生年月日／S29.1.14
年齢／52歳

参　事



筥嵜通晴
(ハコザキ ミチハル)
出身農協／おんべつ
生年月日／S29.3.13
年齢／52歳

KUSHIRO TANCHO

誕生

「JAつるい」・「JA幌呂」・「JA白糠町」・「JAおんべつ」の4農協は、
「JAくしろ丹頂」として新しい未来に向って飛び立ちました。

2006. 6. 1
JAくしろ丹頂

「JAくしろ丹頂」の新しいマークは、釧路湿原や阿寒国立公園、太平洋といった豊かで清廉な環境を周辺に持ち、名称にも使われる「丹頂鶴」の生息地である事を表現しました。大地に根ざし、大切にしてきた環境を守り、豊かな未来を切り開く決意を表しています。



「JAくしろ丹頂」シンボルマークのデザインコンセプト

- **キーワード**
  丹頂鶴／豊かな自然と大地／安心、清廉、進取
- **モチーフ**
  自然、大地、水、飛翔、未来
- **キャッチフレーズ**
  タンチョウの舞う里　サンクチュアリ

◆新JAの基本理念◆

1 組合員サービスを強化する運営方針の確立

新JAは、組合員との意思疎通と密着化をより強化した事業運営を行います。また、各部門での合理化・効率化を追求し、組合員の負託に応えられる運営方針を確立いたします。

2 組合員経済への貢献

JAの使命を再認識し、組合員の所得向上に努め、組合員の経済的発展に寄与します。さらに、このことによって、地域の基幹産業である農業を振興するとともに、食糧基地北海道の一翼を担う地域としての責任を全うし、安全・良質な農畜産物を国民に供給します。

3 自主・自立・民主的なJA経営の確立

組合員の積極的な参加による民主的なJA運営を行い、組合員・役職員が一体となって情報開示の時代の中で透明性と信頼性の高いJA経営を実現します。なお、このための組合員・役職員教育も積極的に行います。

4 地域社会への貢献

地域社会の一員として社会的責任に鑑み、行政との連携を強化し、地域農業の振興並びに多様化する組合員・地域住民のニーズに応えるJA経営により、環境・文化・福祉への貢献を通じて、魅力ある豊かな地域社会の発展に貢献します。

「JAくしろ丹頂」誕生までの道のり

平成11年12月	JAつるい、幌呂、白糠町、おんべつ、阿寒町による「釧路西部地域JA合併研究会」を設置して、JA合併に関する調査を始める。
平成12年8月	5JAによる「釧路西部地域JA合併検討委員会」を発足させ、将来の組合員の営農と生活を守るべくJAの組織基盤の強化、経営の合理化、効率化などを模索し一つの手段として合併について検討する協議を開始。
平成12年10月	JA釧路市問題が発生し、検討委員会の協議を1年間程中断。
平成13年 8月	JA阿寒町がJA釧路市を救済合併し、JA阿寒となる。
平成14年 6月	5JAの通常総会で「釧路西部地域JA合併推進委員会」の設置が確認。検討委員会を発展的に解散し「釧路西部地域JA合併推進委員会」を発足させて、合併目標日を平成15年4月1日として協議を進める。
平成15年 2月	各JA間の経営格差是正のために時間が必要との判断から、「合併は必ず実現させる」という不退転の決意のもと、合併目標日を平成18年3月1日に延期。
平成17年 3月	JA阿寒が合併協議から離脱。残る4JAは引続き当初の目標どおり平成18年の合併に向けて邁進することを確認。
平成17年 4月	信用事業システム（JASTEM）の関係で合併目標日を平成18年6月1日に延期。
平成17年11月10日	合併予備契約調印式。
平成17年11月30日	4JA一斉に同時刻に合併総会を開催。
平成18年6月1日	釧路丹頂農業協同組合（JAくしろ丹頂）発足。

契約調印式



代表理事組合長 植田　晃雄（前JA幌呂代表理事組合長）



代表理事専務 瀧澤 義一（前JAつるい代表理事組合長）



副組合長理事 五十嵐　昇（前JA白糠町代表理事組合長）



副組合長理事 田井　愃（前JAおんべつ代表理事組合長）

4組合長、手を取り合って



合併予備契約調印式（平成17年11月10日）

発足式 晴天に恵まれたセレモニー



緊張の新生JA　くしろ丹頂の発足式（平成18年6月1日）

カメラアングル

特集号のアングルは、
「釧路丹頂」の
発足式、祝賀会の様子や
鶴居会場、白糠会場での
共進会の模様を
お伝えします。

釧路丹頂農協発足式・祝賀会



発足式で、あいさつをする植田代表理事組合長



新たな決意で勢揃いした新役員



発足記念祝賀会場で、あいさつする瀧澤代表理事専務


新発足を祝う女性部の皆さん


緊張の第1日目（本所）

カメラアングル



ここかしこに喜びと期待の表情が…。（発足記念祝賀会）

共進会 会場散歩

夏本番を目前にした6月、
各地で歴史と伝統の家畜共進会が
開催されました。
自慢の家畜を囲んで家畜の改良談義に
花が咲きました。



鶴居会場にて（6月3日）



白糠会場にて（6月5日）



白糠会場にて 植田組合長、五十嵐副組合長（右から）

たんちょうトピックス

各地で家畜共進会開催される

風薫る5月を過ぎ、一番草収穫までのこの短い間に共進会シーズンも本番を迎えました。鶴居村家畜共進会場にて、去る6月3日第40回鶴居村家畜共進会が、また、6月5日には白糠町家畜共進会場で、平成18年度釧路丹頂農業協同組合白糠・音別支所合同乳牛品評会及び種馬品評会があいついで開催されました。両日とも好天に恵まれ、出品者の皆様には家畜の改良談義に花が咲き、関係者各位には農協合併直後の慌しさの中ではありましたが、お互いに懇親を深める貴重な機会となりました。

鶴居村共進会乳牛の部は上士幌町の酪農家小椋茂敏氏が、馬の部は標茶町セントラル牧場代表安部哲朗氏が審査され、また、白糠音別合同乳牛品評会では(社)ジェネティクス北海道道東事業所業務次長千葉義博氏が、種馬品評会は釧路農協連生産振興課長斉藤晃一氏が審査されました。審査員の皆様には、出品者の皆様が日頃より丹精した多くの家畜に審査講評をいただき、今後の改良のアドバイスとなりました。それぞれの結果は以下のとおりとなります。

■第40回　鶴居村家畜共進会

(2006.6.3)

乳牛の部		出陳番号	牛　名　号	出陳者氏名
グランドチャンピオン		803	セイワ ヘンドリカ トウランフアーム ET	清和農場
未経産	最高位	305	オラホーム ダンデイー アール	安藤　功
	準最高位	702	TKS テイー ダーハム	清水武志
経　産	最高位	803	セイワ ヘンドリカ トウランフアーム ET	清和農場
	準最高位	903	ホリウード セイ リユーク ウインド	高橋農場

馬　の　部	出陳番号	馬　名　号	出陳者氏名
最高位	2505	栄　桜	斉藤実稔
準最高位	2504	クリーンオーザ	松井紀行

■平成18年度 釧路丹頂農業協同組合 白糠・音別支所合同乳牛品評会

(2006.6.5)

賞	出陳番号	牛　名　号	出陳者氏名
グランドチャンピオン	1202	ミステイカル リー ヒル	志賀忠浩
リザーブグランドチャンピオン	904	エンプレス ボーバー ジエスロ	松田修人
ジュニアチャンピオン	202	クレンヤード バレツト チーフ	成田純哉
リザーブジュニアチャンピオン	101	ヒンペル テラソン ブラツクスター	蔵光淳也
ベストアダーチャンピオン	904	エンプレス ボーバー ジエスロ	松田修人

■平成18年度 釧路丹頂農業協同組合 白糠・音別支所合同種馬品評会

(2006.6.5)

賞	出陳番号	馬　名　号	出陳者氏名
最高位	304	鈴　風	小川佑治
準最高位	207	桜　陽	松野　貢

牧草収穫のポイント再確認

牧草収穫の時期となりました。酪農経営において、飼料費は最も大きなコストです。良質な粗飼料を作ることは、一年の経営を左右します。今年の一番草収穫を成功させるためのポイントを再確認しましょう。

細断サイレージ作り五箇条

その❶ 水分70%を目標に予乾

原料草の水分が70%以上になると、排汁が多くなり、乾物損失が多くなります。さらに酪酸発酵が起こりやすくなり、発酵品質が低下します。水分が少なすぎても、ほ場における損失が多くなります（図1）。

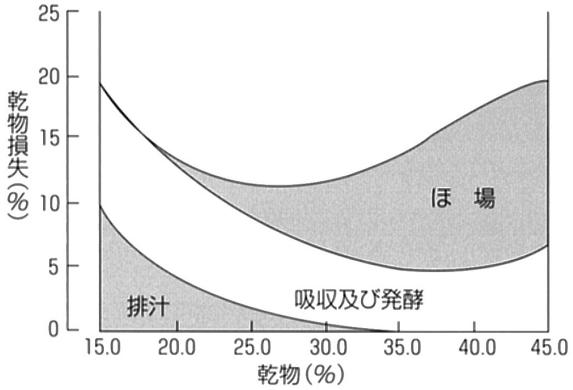


図1）乾物損失のモデル

その❷ 適切な切断長

しっかり締まったサイロをつくり、且つ牛が必要な繊維を確保するには、2～3割の草が2・5cm以上の長さである事が必要です。切断長を1・0～1・5cmに設定し、ハーベスターの刃は定期的に研磨します。スパッと切断された牧草は切断長が一定で、十分な鎮圧ができます。

その❸ 十分な鎮圧を！

サイレージの鎮圧の目的は、原料草から空気を閉めだし、嫌気的状態を作り出すことです。このことにより、不良発酵の原因となる微生物の活動を最小限に抑えることが出来ます。鎮圧が不十分では、よいサイレージは作れません。近年、収穫機械は大型化し、作業効率は飛躍的に向上しました。しかし、鎮圧作業機の性能は昔とさほど変わっていません。その結果、サイロの鎮圧作業より、ほ場からの新しい原料草の運搬が優り、鎮圧が不十分になっているようにみうけられます。

次のことに注意しましょう。

❶接地圧が高いトラクターやホイルローダー等のシングルタイヤを使う。

❷原料草は10cm程度の厚さにならして、鎮圧する。

❸バンガーサイロは、サイロ内を八の字踏み、壁際までしっかり鎮圧する（図2）。

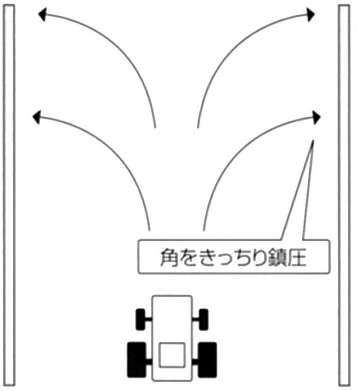


図2）サイロ鎮圧の動線

❹バンガーサイロは、側壁以上に原料草を詰めると鎮圧が不十分になるので、サイロの高さは側壁までとする（図3）。

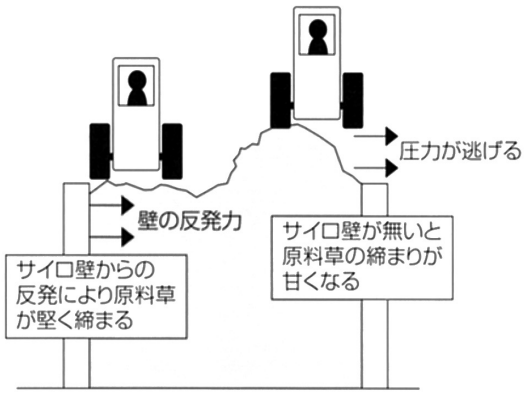


図3）原料草の高さ

その❹ 確実な密封

嫌気的状態を確保するために、サイロ詰め込み後直ちにシートを掛けましょう。大きなバンガーサイロの場合、詰め込み作業が数日に渡らないよう、作業計画をたてましょう。シートを掛けた後は、原料草とシートの間の空気を抜くためにタイヤ等をのせましょう。

※作業の都合上、やむを得ず天気の悪い時にサイレージの調製をする場合に備えて、添加剤を用意しておきましょう。

ラップサイレージのポイント

その❶ 早期密封

原料草をロールにしてからラッピングまでの時間がかかると、発酵品質が低下します。

その❷ ラッピング巻数

ラップの巻数が多い方が品質の良いものに出来上がります。特に、年を越し春先までおいて置くものについては、六重巻にし、廃棄ロスを最小限に抑えましょう。

農作業事故に注意！

疲れはうっかりミスを誘い、思わぬ事故を引き起こします。体調管理に気をつけましょう。また、作業機の点検は必ず、エンジンを停止してからおこないましょう。

住所・電話・FAX番号一覧表

本　所　〒085-1206 阿寒郡鶴居村鶴居東4丁目45番地

■管理部
- 企画管理課 ☐
- 経理電算課 ☐
- 融資審査課 ☐

■金融共済部
- 金融課 ☐
- 融資課 ☐
- 共済課 ☐

TEL(0154)64-2311　FAX(0154)64-2315

■内部審査室 ☐

■営農部
- 営農課 ☐
- 生産販売課 ☐

TEL(0154)64-2314　FAX(0154)64-2661

■購買部

生産資材鶴居店 ☐	TEL(0154)64-2334	FAX(0154)64-2213
Aコープ鶴居店 ☐	TEL(0154)64-2316	FAX(0154)64-2213
鶴居給油所 ☐	TEL(0154)64-2121	FAX(0154)64-2945

幌呂支所　〒085-1141 阿寒郡鶴居村幌呂西3丁目15番地

■総務 ☐	TEL(0154)65-2311	FAX(0154)65-2313
■金融共済 ☐	TEL(0154)65-2312	FAX(0154)65-2313

■営農部

営農課 ☐	TEL(0154)65-2314	FAX(0154)65-2313
営農支援課 ☐	TEL(0154)65-2314	FAX(0154)65-2313
家畜改良課 ☐	TEL(0154)65-2315	FAX(0154)65-2313
生乳課 ☐	TEL(0154)65-2005	FAX(0154)65-2523

■購買部

生産資材幌呂店 ☐	TEL(0154)65-2117	FAX(0154)65-2461
Aコープ幌呂店 ☐	TEL(0154)65-2116	FAX(0154)65-2458
幌呂給油所 ☐	TEL(0154)65-2118	FAX(0154)65-2118

白糠支所　〒088-0393 白糠郡白糠町茶路基線20番地1

■金融共済課

総務 ☐	TEL(01547)2-2235	FAX(01547)2-2238
金融 ☐	TEL(01547)2-2183	FAX(01547)2-2184
共済 ☐	TEL(01547)2-2183	FAX(01547)2-2184

■営農販売課

営農 ☐	TEL(01547)2-2235	FAX(01547)2-2238
販売 ☐	TEL(01547)2-2235	FAX(01547)2-2238
生乳 ☐	TEL(01547)2-5288	FAX(01547)2-2360

■購買課

生産資材白糠店 ☐	TEL(01547)2-3258	FAX(01547)2-3791
白糠給油所 ☐	TEL(01547)2-2084	FAX(01547)2-2085

音別支所　〒088-0115 釧路市音別町本町1丁目15番地

■金融共済課
- 総務 ☐
- 金融 ☐
- 共済 ☐

■営農販売課
- 営農 ☐
- 販売 ☐

TEL(01547)6-2111　FAX(01547)6-2514

■購買課

生産資材音別店 ☐	TEL(01547)6-2111	FAX(01547)6-2514
Aコープ音別店 ☐	TEL(01547)6-2155	FAX(01547)6-2145
音別給油所 ☐	TEL(01547)6-2168	FAX(01547)6-2168

系列会社

鶴居共同農林株式会社　〒085-1206 阿寒郡鶴居村鶴居東3丁目17番地

☐ TEL(0154)64-2503　FAX(0154)64-2327

■幌呂整備工場　〒085-1142 阿寒郡鶴居村幌呂東3丁目10番地

☐ TEL(0154)65-2348　FAX(0154)65-2461

車輌農機具の車検修理は、鶴居協同農林(株)のご利用をぜひお願いいたします。

編集後記 EDITOR'S NOTE

新生「釧路丹頂農業協同組合」発足に伴い、広報誌も創刊することになりました。今回は合併記念特集号ということで、内容はそれに重点をおいたものになりました。お忙しいなか原稿・情報を提供いただいた皆様、ありがとうございました。次回も何かありましたら、また、お願いするかと思いますがよろしくお願いいたします。
次号より徐々に誌面を充実させていく予定ですので、読者の皆様からのご希望ご要望などございましたらどしどしお寄せ下さい。よろしくお願いいたします。

JAくしろ丹頂 誕生!
4つのJAが合併して、
さらにパワーアップしたJAが誕生しました。

JAのマイカーローン
平成18年7月31日(月)まで

合併記念キャンペーン実施中!
この機会にぜひ、ご利用ください。

特別金利 最優遇 3年以内
1.90% 固定金利

■ローンのお申し込みには
お申し込みの際、次の書類が必要となります。
1.自動車の見積書
2.所得を証明する書類
3.身分を証明する書類(免許証、健康保険証など)

JAくしろ丹頂
釧路丹頂農業協同組合

本　所／☎(0154)64-2311　幌呂支所／☎(0154)65-2311
白糠支所／☎(01547)2-2183　音別支所／☎(01547)6-2111
※くわしくは、当JAへお電話でご相談ください。